

神戸女子大学・神戸女子短期大学の特色を生かした教員免許状更新講習

神戸女子大学では、平成21年からスタートした教員免許状更新講習に先立つ1年前から予備講習を開設し、翌年からは神戸女子短期大学においても更新講習を開始しました。

本学園は建学の精神に則り、教員養成を教育・研究の柱の一つに捉え、地元兵庫県をはじめ各地に多くの教員を輩出している歴史があり教員免許状の更新講習にも力を注いできました。毎年、多くの教員が受講していますが、今回は本学園の特色を生かした更新講習を紹介します。

神戸女子大学

文学部教育学科では、小学校教諭一種免許状・幼稚園教諭一種免許状が取得できます。小学校教諭として必要な実践的能力を高める教育を行っていますが、中でも理科基礎実験の知識や技術に長けた教員を養成するため、物理・化学・生物・地学の分野ごとに実験・実習を少人数で行っています。

教員免許状更新講習でも毎年「小・中学校教諭のための科学実験講座」は、この4分野にわたる実験・実習ができる講習として喜ばれています。



生物分野 稲垣善茂教授：
顕微鏡で体細胞の核分裂の染色体の観察



物理分野 西田実継教授：
浮力と密度(比重)の測定



化学分野 岩本哲幸准教授：
二酸化炭素の製法と性質を確認する実験



地学分野 村田恵子助教：
岩石・化石標本の観察

神戸女子短期大学

食物栄養学科は、栄養教諭二種免許状が取得できます。児童・生徒へ食育を行う知識や技術を備えた実践的な栄養教諭を育成しており、教員免許状更新講習では、「食育の実践—子どもの発達の見点から食育を考える—」を開講し、毎年栄養教諭、家庭科教諭、小学校教諭、幼稚園教諭、保育士等多くの教員が受講し高い評価を得ています。



平野直美教授：
子どもの味覚を育てる教育について講義。
食塩含浸濾紙ソルセイブを使って塩味テスト



西川貴子教授：
和食文化と食育について講義。8種類のそうめんつゆの判別、インスタント食品の塩含有量の測定



市販の煮豆と手作りの煮豆との味や材料について比較する受講者

兵庫県教育委員会と共催「中堅教諭等資質向上研修」開催

神戸女子大学では、兵庫県教育委員会の依頼により、平成29年7月31日(月)・8月1日(火)の2日間、「中堅教諭等資質向上研修」(注)の「生徒指導」研修を初めて開催し、文学部教育学科榎元 十三男特任教授と谷山 優子准教授が講師を務めました。

1日目は63名、2日目は35名の小学校・中学校・高等学校・特別支援学校の中堅の教員が受講しました。榎元特任教授は「児童生徒理解と学級・学校の経営」「個別の生徒指導課題への対応」、谷山准教授は、「発達障害の理解と支援」「わかる授業づくり」のテーマで講義しました。

両日とも研修会はグループワークを取り入れ、受講者全員が発表や発言をして活気にあふれ、自らが問題解決の糸口に辿り着ける研修会となりました。講師を務めた本学の2名の教員がユーモアを交えて語った体験談は、管理職を支え新人を指導する中核的な存在である先生方への励ましの言葉ともなりました。

(注) 教育公務員特例法第24条に基づき、公立学校等の中堅の教諭を対象に「個々の能力、適性等に応じて教諭等としての資質の向上を図ること」を目的とする研修



7月31日:榎元十三男特任教授による研修



8月1日:谷山優子准教授による研修



社会福祉学科の教員 高等学校で出前授業

神戸女子大学健康福祉学部 社会福祉学科では、兵庫県の「進路選択学生等支援事業」による助成を受けて、県下の高等学校に教員が出向き、福祉・介護・人権に関する特別授業、講演、進路相談を平成26年から行っています。

平成29年度は申し込みがあった兵庫県下の五つの高等学校で平成29年9月から11月の間に延べ11回の出前授業を行いました。

同学科の教員は、各高等学校の要望により実習や講義を行い、高齢者、障がい者、児童、生活困窮者などのさまざまな生活課題がある人びとへの理解を深め、専門職としての福祉の仕事の説明し、進路選択の支援を行っています。



「福祉について」の授業
松崎喜良教授

兵庫県立鳴尾高等学校

松崎 喜良教授 「福祉について」

兵庫県立北須磨高等学校

津田 理恵子教授 「介護技術について」
下司 実奈准教授 「児童福祉について」

兵庫県立明石南高等学校

松崎 喜良教授 「生活を支える社会福祉」
曾田 里美准教授 「児童福祉について」
下司 実奈准教授 「児童福祉について」

兵庫県立小野高等学校

下司 実奈准教授 「子どもの福祉」

兵庫県立星稜高等学校

松崎 喜良教授 「子どもの成長と社会福祉」



「介護技術」の授業。車椅子に移る板「移座えもんボード」の使用法を説明
津田理恵子教授

スポーツ吹矢近畿ブロック大会で準優勝

平成29年9月22日（金）に開催された「第4回スポーツ吹矢近畿ブロック大会IN奈良」女子6メートルの部で、神戸女子大学スポーツ吹矢同好会の山下 茉莉さんが準優勝しました。

山下さんは同年5月に開催された「第9回スポーツ吹矢兵庫県大会」の同部門で優勝し、近畿ブロック大会に出場しました。近畿ブロック大会では本選で同点となり1位決定戦でも決着がつかず、最後の1本勝負もまたもや同点になり、ついに中心からの距離を定規で測定の結果、わずかの差で惜しくも準優勝となりました。

山下さんは1年生の後期から本格的にスポーツ吹矢の練習を始めました。的に矢が命中したときに味わう爽快感は格別のもので、楽しく練習を続け、2年足らずの間にめきめきと上達していきました。スポーツ吹矢を始めて集中力がついたという山下さんは、試合では平常心を保つことが好成績につながったと語っています。今後は8メートルにも挑戦したいと新たな目標をたてて練習に励んでいます。



表彰状を手にする山下茉莉さん(家政学部家政学科3年生):報告会の出席者と記念撮影
左から齊山美津子学生部長、中島實学長、クラブ指導の西本由紀子助手、中岡弘一事務部長

表彰状を手にする山下茉莉さん(家政学部家政学科3年生):報告会の出席者と記念撮影
左から齊山美津子学生部長、中島實学長、クラブ指導の西本由紀子助手、中岡弘一事務部長

キャンパス・パーク連携事業 ターシャが紡ぐ物語

平成29年12月2日（土）から27日（水）まで、神戸市立須磨離宮公園とキャンパス・パーク連携を締結している神戸女子大学と神戸女子短期大学図書館が共催して、特別展「ターシャが紡ぐ物語」を開催しました。

「ターシャと楽しむお話会」 12月3日（日）には、特別展のイベントの一つ「ターシャと楽しむお話会」を午前と午後の2回公演しました。

文学部教育学科の久野 和子准教授（専門：図書館情報学）のゼミ生10名と、図書館関係のボランティアに取り組む同好会「ビブリア」の学生1名の合計11名がクリスマスソング、ターシャ・テューダーの絵本の読み聞かせ、クリスマスにちなんだ紙芝居などで、子どもたちとその家族ら約90名を楽しませました。

久野研究室のゼミ生たちは幼稚園・保育所・子ども園で教諭や保育士として活躍することを目標に、絵本に関する専門的な知識や技能と豊かな感性の習得を目指して勉学に励んでいます。学生たちは自主的にお話会に使う絵本を選書し、プログラムを組み立てました。

ターシャの絵本は、お話に合わせて、キーボード、ハンドベル、トーンチャイム、打楽器でBGMや効果音を演出し、植物と動物を愛したターシャの描く美しい世界に観客を引き込みました。学生にとっては、これまでに学んだ知識や技能を総合的に活用・実践でき、子どもたちに絵本の魅力を伝え、自らのコミュニケーション能力を高める貴重な機会にもなりました。

お話会プログラム

- 絵本** 『クリスマスのまえのばん』
ターシャ・テューダー絵
クレメント・ムア詩、中村妙子訳
- 紙芝居** 『てぶくろ』
堀尾青史作、箕田美子絵
- 絵本** 『コーギビルのいちばん楽しい日』
ターシャ・テューダー文・絵
食野雅子訳
- うた** ジングルベル、きよしこの夜
あわてんぼうのサンタクロース



久野和子准教授(前右から2人目)とお話会を企画したゼミ生たち



読み聞かせをする学生
絵本:『クリスマスのまえのばん』